

グループホーム暖らん 令和6年度第6回 運営推進会議

日時：令和7年3月25日（火曜） 15時00分～

出席者（敬称を略させていただきます）

民生児童委員

地域委員

出雲市高齢者福祉課

出雲市高齢者あんしん支援センター

理事長

管理者

1. 利用状況（3月25日現在）

○ 現入居者 9名（定員9名）

年齢別

前回：平均 91.5 歳

今回：平均 90.2 歳

	男	女
70歳代	0	1
80歳代	0	2
90歳代	2	4

要介護度別

前回：平均 3.1

今回：平均 3.0

	男	女
要介護1	1	0
要介護2	0	3
要介護3	0	2
要介護4	1	0
要介護5	0	2

2月に新規入居のご利用者A様がいらっしゃいました。70歳代で入所当初は他ご利用者と打ち解けることができるかご本人も心配される場面もありましたが、現在ではグループホームでの生活にも徐々に慣れ、他ご利用者や職員との関りも概ね良好に行えております。また、B様が体調面の悪化のためA病院に急遽入院されましたが、バルンカテーテルが留置されて様態が安定し退院されました。季節の変わり目のためご利用者の体調の変化に注意し、穏やかに生活していただけるよう配慮してまいります。温かくなってきたため外出行事も少しずつ増やしていき、季節を感じていただければと思います。

○ 利用待機者 8名

新規の申し込みがありました。問い合わせも数件あり見学の案内をしております。

2. 令和6年度外部評価制度について

1月31日の暖らん職員会議にて外部評価に準じる内部評価の実施について職員への説明を行いました。そして、2月にアンケートを伴う内部評価(職員の自己評価)を行い、結果を集計致しました。評価の基準は1.(ほぼ)できている 2.どちらともいえない 3.(あまり)できていないの3段階です。職員の主観に基づいて回答していただきました。質問項目等は別紙をご覧ください。

3. 2月～3月間のヒヤリハット・事故報告件数について

ヒヤリハットは14件でした。センサー関連が6件と最も多く、センサー音が聞こえなかったことや訪室時に立ち上がっておられた、センサーの電源が切れており物音で訪室したなどです。居室への連れ帰り時にはセンサーの電源がオンになっているか確認するよう職員間で話し合っています。

事故報告は2件でした。居室での転倒、義歯を装着し忘れ昼食のリンゴサラダのリンゴをかじられるという内容でした。転倒事故については居室環境や福祉用具を変更して2日後のことであり、事故後に再度居室環境と福祉用具の見直しを行いました。職員間の情報共有の質や伝達速度の向上のために次年度はリスクマネジメントや環境整備などの各委員会の活動を強化していきます

4. 1月以降の主な行事や活動

詳細は別紙「暖らん便り」no.33をご覧ください。

1月は新年の抱負や書き初めなどのイベントがありました。2月は恵方巻づくりや節分がありました。新規のご利用者が調理のお好きな方なので今後は調理レクの拡充を目指していきたいと考えております。

5. 研修について

- ・感染症対策研修（1月 職員会）
- ・身体拘束研修（2月 職員会）
- ・令和6年度出雲市介護保険サービス従事者集団指導（3月 Zoom研修）
- ・令和6年度島根県介護労働懇談会（3月 Zoom研修）

6. その他 出席者コメント

委員：事業所での内部評価の意図は理解できる。実際に出た結果ではコメントもあったと思われる。それについてももう少し話し合ってみてはどうか。また、課題や改善すべき点なども次年度に向けて職員間での情報共有を行ってほしい。ヒヤリハットや事故報告も月ごとの結果だけではなく、半年や1年を通しての発生件数や事故の傾向についてまとめてもらいたい。センサーなどのヒヤリハットや転倒の事故は以前もあったと思う。そうしたことが起こる背景をもう少し事業所で話し合ってほしい。

他委員：概ね同意です。

管理者：ご指摘いただきありがとうございます。コメントなどの記載が不十分で申し訳ございません。運営推進会議の後日、職員会議でコメントについても協議して内容を取りまとめたものを次年度に資料として再度提出させていただこうと思います。ヒヤリハットや事故報告についても月ごとの経過以外に半年や1年単位で区切って統計をとり傾向や原因について話し合う場を作っていきたいと思います。結果だけでなく原因にもフォーカスできる運営を行って参ります。

委員：事業所外研修などももう少し行ってみてはどうか。

管理者：ご意見いただきありがとうございます。事業所内研修や従業員の研修も次年度は充実できるように話し合っていきます。